

平成27年 医師会立
助産師・看護師・准看護師学校養成所
調査

平成27年5月実施
公益社団法人 日本医師会

目次

調査概要	1
平成27年 調査結果の概要	
<1> 平成27年度入学状況	2
<2> 平成26年度卒業状況	6
入学・卒業状況の経年変化	
I 学校数の推移	8
II 入学状況の推移	9
III 倍率の推移	13
IV 入学率の推移	14
V 定員充足率の推移	15
VI 男子生徒率の推移	16
VII 医療機関就労生徒率の推移	17
VIII 最終学歴の推移	18
IX 卒業後の進路	21
X 卒業後進路の推移	22
まとめ	26

調査目的

医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況の実態把握

調査概要

調査方法	質問紙郵送法
調査対象	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所
調査地域	全国
有効サンプル数	352校（*各年毎に入学者もしくは卒業者のあった学校養成所を調査対象としている）
調査実施時期	平成27年5月
調査内容	医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況及び運営状況等

学校養成所数

○准看護師課程	188 校			
	*26年度募集停止	1 校		
	*27年3月閉校	5 校	計	194 校
○看護師2年課程	76 校			
	*26年度募集停止	6 校		
	*27年3月閉校	2 校	計	84 校
○看護師3年課程	68 校			
○助産師課程	6 校			

平成27年度 調査結果の概要

<1>平成27年度入学状況

1. 各項目の総数

(人)

	定員	応募者	受験者	合格者	入学者
准看護師課程	8,770	18,871	17,918	9,537	8,559
（うち男子）		(4,898)	(4,650)	(2,034)	(1,840)
看護師2年課程	3,366	4,681	4,579	3,423	3,165
（うち男子）		(1,173)	(1,145)	(774)	(702)
看護師3年課程	3,533	12,462	11,826	4,721	3,565
（うち男子）		(2,457)	(2,323)	(606)	(504)
助産師課程	135	409	390	129	123

(人)

	入学者の最終学歴						医療機関 就労生徒
	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	
		高校中退					
准看護師課程	436	294	2,399	4,310	646	768	4,644
（うち男子）	(55)	(34)	(441)	(995)	(43)	(307)	-
入学者に占める割合	5.1%	3.4%	28.0%	50.4%	7.5%	9.0%	54.3%
看護師2年課程	35	19	174	2,437	208	311	-
（うち男子）	(3)	(1)	(17)	(527)	(20)	(136)	-
入学者に占める割合	1.1%	0.6%	5.5%	77.0%	6.6%	9.8%	-
看護師3年課程	0	1	2,310	776	135	344	-
（うち男子）	(0)	(0)	(240)	(165)	(4)	(95)	-
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	64.8%	21.8%	3.8%	9.6%	-
助産師課程	0	0	4	87	10	22	-
入学者に占める割合	0.0%	0.0%	3.3%	70.7%	8.1%	17.9%	-

※1 「医療機関就労生徒」とは、新入生のうち医療機関で働きながら学ぶ生徒、あるいは医療機関で働きながら学ぶことを希望する生徒を指す。

※2 他の専門学校卒業生は「高校既卒」として集計した。

平成27年度 調査結果の概要

2. 倍率(応募者/定員)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0.8倍未満	3	(1.6%)	7	(9.2%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1.0倍未満	2	(1.1%)	4	(5.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
1.2倍未満	4	(2.1%)	11	(14.5%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)
1.5倍未満	24	(12.8%)	23	(30.3%)	3	(4.4%)	0	(0.0%)
2.0倍未満	57	(30.3%)	23	(30.3%)	1	(1.5%)	2	(33.3%)
2.5倍未満	50	(26.6%)	6	(7.9%)	8	(11.8%)	0	(0.0%)
3.0倍未満	20	(10.6%)	2	(2.6%)	17	(25.0%)	1	(16.7%)
4.0倍未満	19	(10.1%)	0	(0.0%)	20	(29.4%)	1	(16.7%)
5.0倍未満	7	(3.7%)	0	(0.0%)	11	(16.2%)	1	(16.7%)
6.0倍未満	2	(1.1%)	0	(0.0%)	6	(8.8%)	0	(0.0%)
6.0倍以上	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.9%)	0	(0.0%)
合計	188	(100.0%)	76	(100.0%)	68	(100.0%)	6	(100.0%)
最高倍率	5.8 倍		2.8 倍		7.0 倍		4.9 倍	
最低倍率	0.7 倍		0.6 倍		1.2 倍		1.1 倍	
平均	2.2 倍		1.4 倍		3.4 倍		2.7 倍	

3. 入学率(入学者/合格者)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(2.9%)	0	(0.0%)
60%未満	0	(0.0%)	0	(0.0%)	8	(11.8%)	0	(0.0%)
70%未満	7	(3.7%)	3	(3.9%)	9	(13.2%)	0	(0.0%)
80%未満	18	(9.6%)	4	(5.3%)	18	(26.5%)	0	(0.0%)
90%未満	56	(29.8%)	11	(14.5%)	16	(23.5%)	1	(16.7%)
100%未満	59	(31.4%)	32	(42.1%)	11	(16.2%)	2	(33.3%)
100%	48	(25.5%)	26	(34.2%)	4	(5.9%)	3	(50.0%)
合計	188	(100.0%)	76	(100.0%)	68	(100.0%)	6	(100.0%)
最高率	100.0 %		100.0 %		100.0 %		100.0 %	
最低率	60.0 %		60.6 %		41.8 %		88.2 %	
平均	90.4 %		93.1 %		77.1 %		96.3 %	

平成27年度 調査結果の概要

4. 定員充足率(入学者/定員)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
50%未満	1	(0.5%)	2	(2.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
60%未満	3	(1.6%)	1	(1.3%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
70%未満	3	(1.6%)	2	(2.6%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
80%未満	7	(3.7%)	5	(6.6%)	0	(0.0%)	1	(16.7%)
90%未満	16	(8.5%)	8	(10.5%)	7	(10.3%)	1	(16.7%)
100%未満	43	(22.9%)	16	(21.1%)	7	(10.3%)	0	(0.0%)
100%	35	(18.6%)	18	(23.7%)	25	(36.8%)	3	(50.0%)
100%以上	80	(42.6%)	24	(31.6%)	29	(42.6%)	1	(16.7%)
合計	188	(100.0%)	76	(100.0%)	68	(100.0%)	6	(100.0%)
最高率	120.0 %		120.0 %		117.5 %		106.7 %	
最低率	45.0 %		42.5 %		80.0 %		75.0 %	
平均	98.1 %		94.5 %		100.7 %		94.4 %	

5. 男子生徒率(男子生徒数/入学者)

(学校数)

	准看護師課程		看護師2年課程		看護師3年課程		助産師課程	
0%	8	(4.3%)	5	(6.6%)	4	(5.9%)	-	-
10%未満	5	(2.7%)	3	(3.9%)	14	(20.6%)	-	-
20%未満	62	(33.0%)	21	(27.6%)	29	(42.6%)	-	-
30%未満	73	(38.8%)	29	(38.2%)	19	(27.9%)	-	-
40%未満	31	(16.5%)	13	(17.1%)	2	(2.9%)	-	-
40%以上	9	(4.8%)	5	(6.6%)	0	(0.0%)	-	-
合計	188	(100.0%)	76	(100.0%)	68	(100.0%)	-	-
最高率	58.8 %		45.5 %		31.3 %		-	
最低率	0.0 %		0.0 %		0.0 %		-	
平均	22.6 %		22.4 %		14.8 %		-	

6. 医療機関就労生徒率(医療機関就労生徒/入学者)

(学校数)

	准看護師課程	
0%	11	(5.9%)
50%未満	58	(30.9%)
60%未満	30	(16.0%)
70%未満	25	(13.3%)
80%未満	26	(13.8%)
90%未満	23	(12.2%)
100%未満	9	(4.8%)
100%	6	(3.2%)
合計	188	(100.0%)
最高率	100.0 %	
最低率	0.0 %	
平均	55.6 %	

平成27年度 調査結果の概要

<2>平成26年度卒業状況

1. 卒業後の進路

(人)

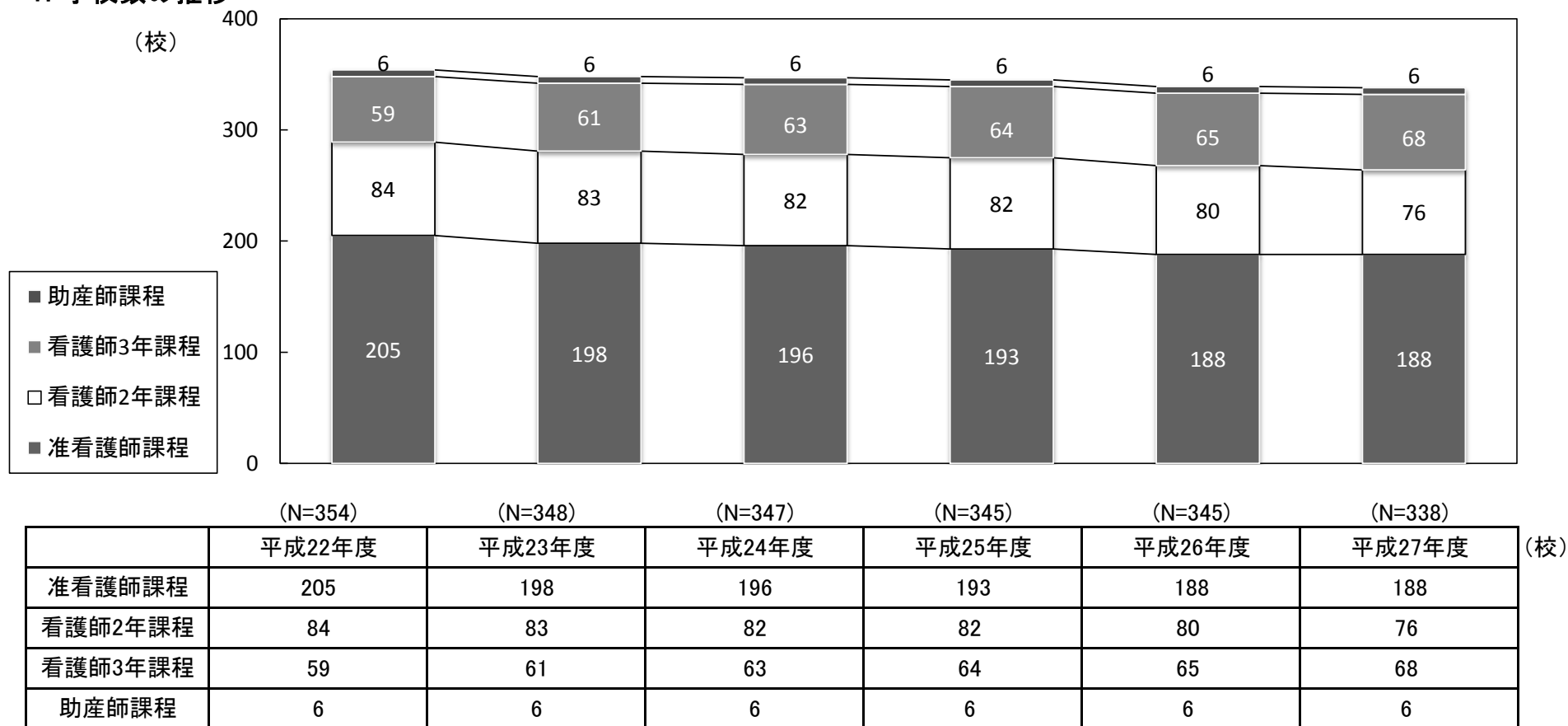
平成26年度	卒業者数	看護職員として就業								進学				その他	
		医師会(管内)就業		医師会(管外)就業		県外就業				医療機関に就業中					
准看護師課程	8,018	3,811	(47.5%)	2,274	(28.4%)	1,184	(14.8%)	353	(4.4%)	3,757	(46.9%)	2,149	(26.8%)	450	(5.6%)
看護師2年課程	3,255	3,111	(95.6%)	1,813	(55.7%)	907	(27.9%)	391	(12.0%)	35	(1.1%)	5	(0.2%)	109	(3.3%)
看護師3年課程	2,818	2,696	(95.7%)	1,441	(51.1%)	852	(30.2%)	403	(14.3%)	50	(1.8%)	0	(0.0%)	72	(2.6%)
助産師課程	121	118	(97.5%)	59	(48.8%)	25	(20.7%)	34	(28.1%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(2.5%)

入学・卒業状況の経年変化

I. 学校数の推移

学校数の推移を見ると、准看護師課程、看護師2年課程では減少傾向にあり、5年前に比べ准看護師課程は17校減、看護師2年課程は8校減となっている。看護師3年課程は、平成22年度の59校から、平成27年度の68校と毎年増加しているが、全体の学校数は減少している。

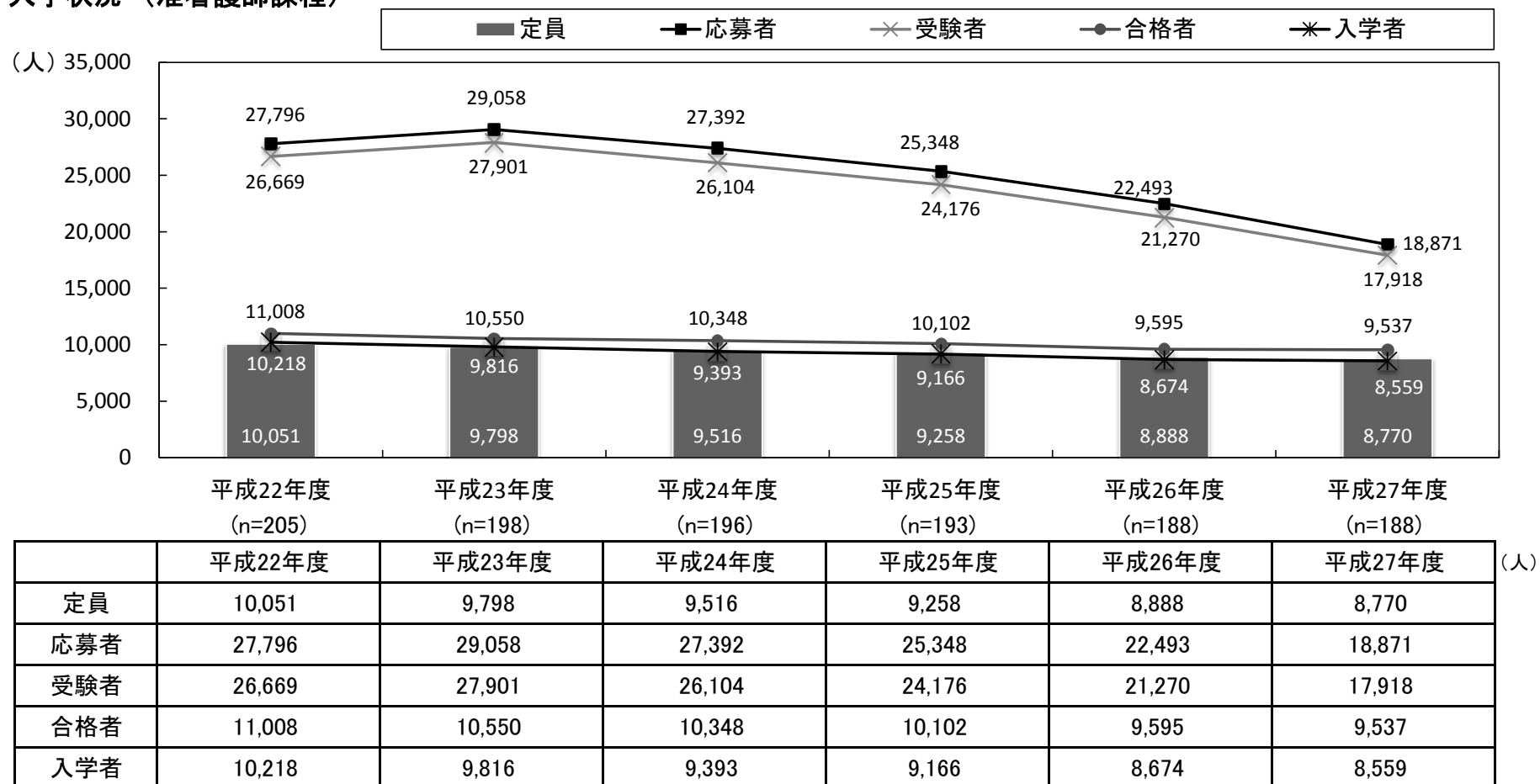
1. 学校数の推移



Ⅱ. 入学状況の推移

今年度の生徒募集を行った准看護師課程は188校で昨年と変わらないが、定員は減っている(大規模校等の定員減によるもの)。応募者は、平成21年度から平成23年度までは増加傾向にあったが、平成24年度からは減少傾向にあり、平成27年度は昨年度から3,600人減の約18,900人であった。

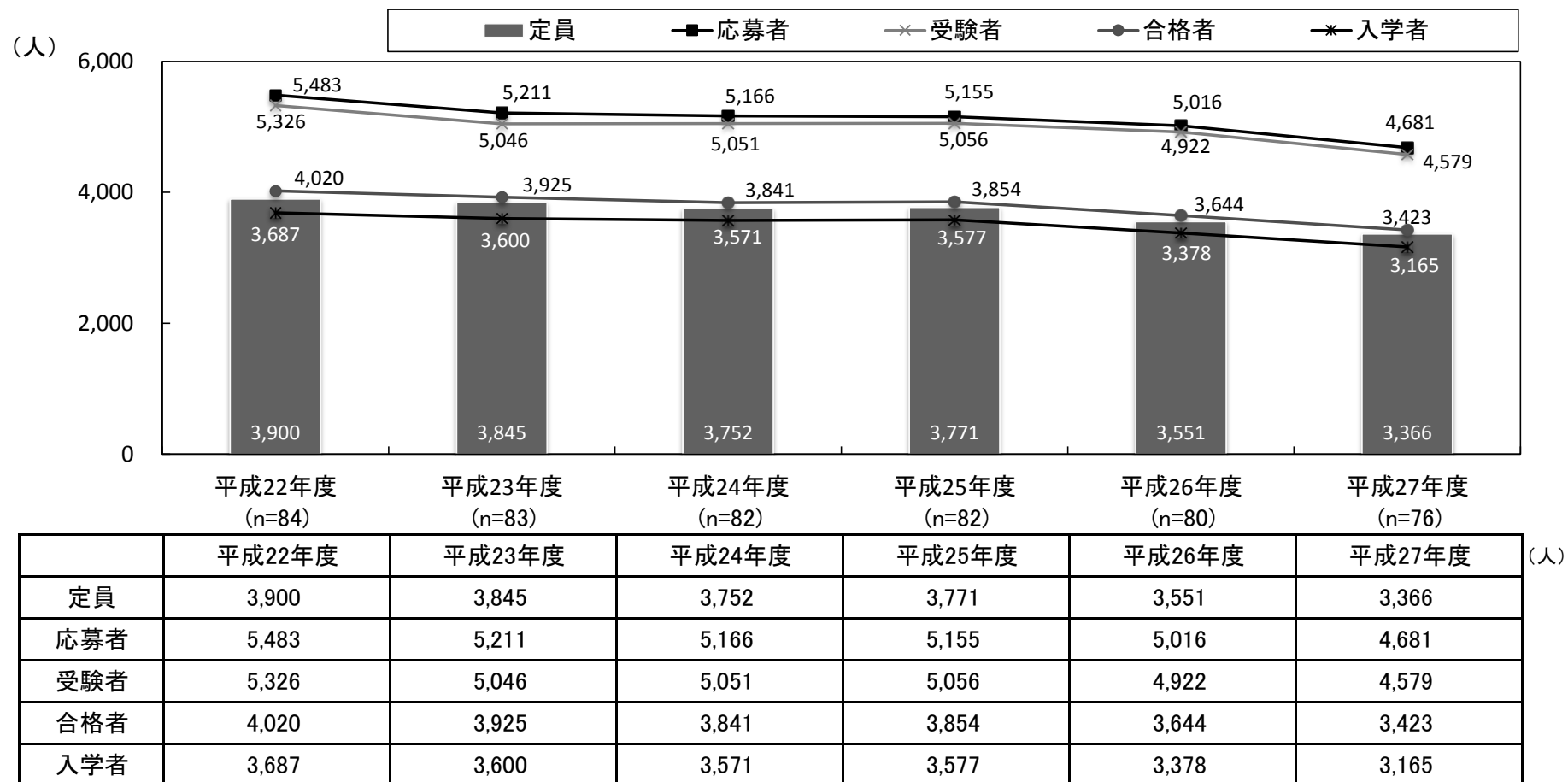
1. 入学状況 (准看護師課程)



Ⅱ. 入学状況の推移

看護師2年課程は、平成22年度に比べて8校減、定員は534人減となっている。平成27年度に、初めて看護師3年課程の定員を下回った。

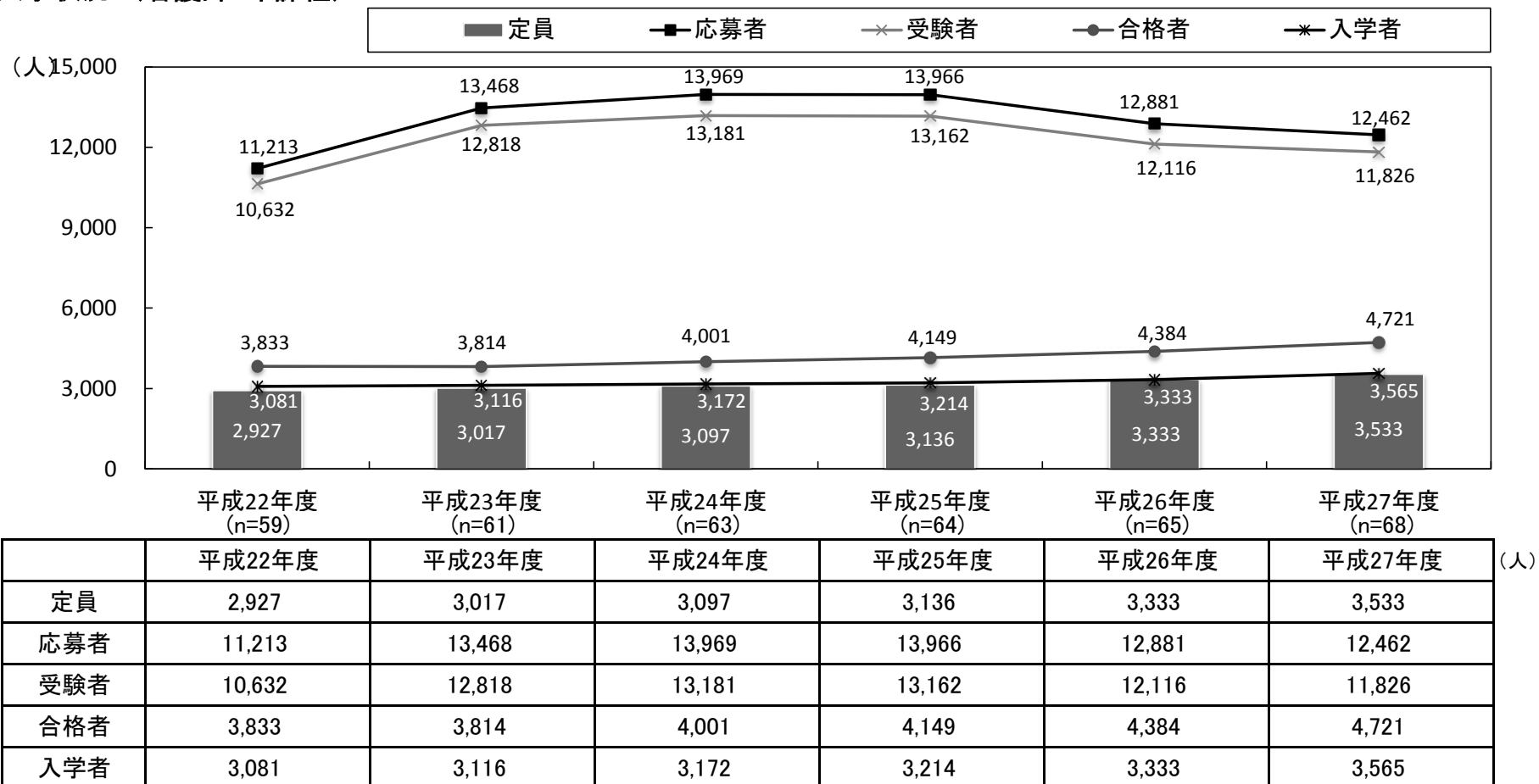
2. 入学状況（看護師2年課程）



Ⅱ. 入学状況の推移

看護師3年課程は、学校数の増加に伴い、定員・入学者は毎年増加している。応募者は、平成26年度からやや減少傾向にある。

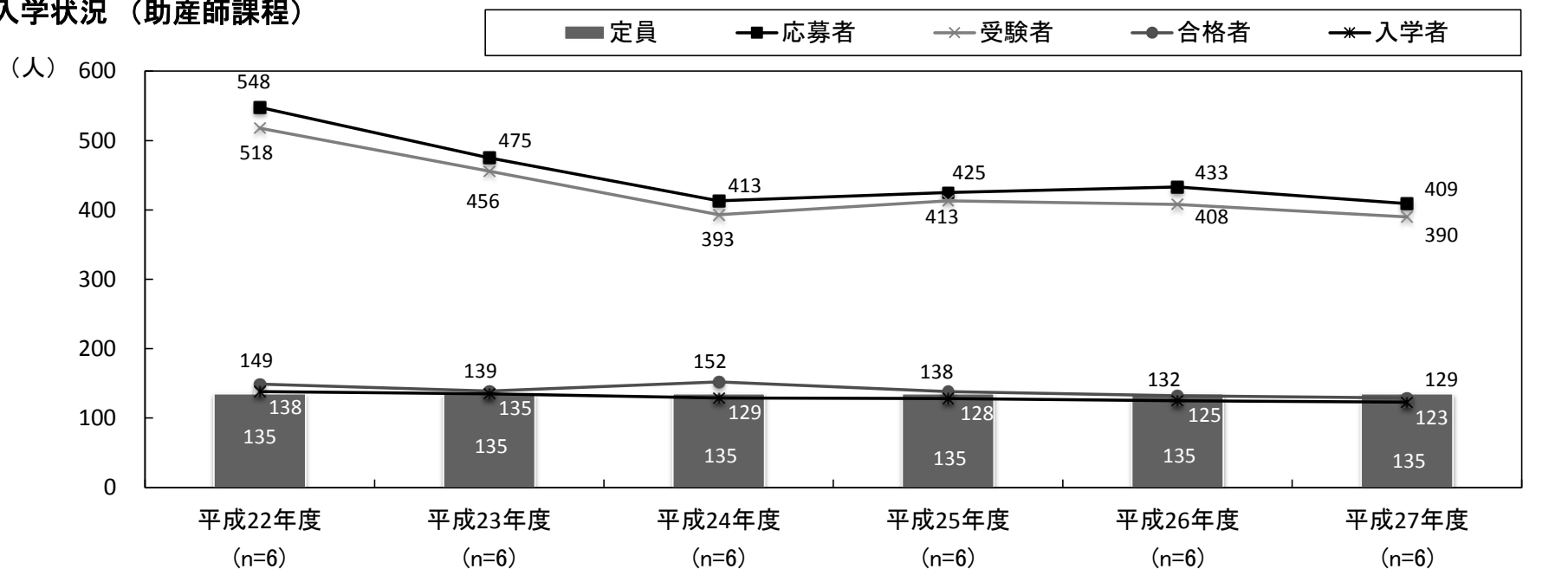
3. 入学状況（看護師3年課程）



Ⅱ. 入学状況の推移

助産師課程については、応募者は平成22年度に比べると減少傾向にあるが、平成24年度以降は横ばいである。

4. 入学状況（助産師課程）



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	(人)
定員	135	135	135	135	135	135	
応募者	548	475	413	425	433	409	
受験者	518	456	393	413	408	390	
合格者	149	139	152	138	132	129	
入学者	138	135	129	128	125	123	

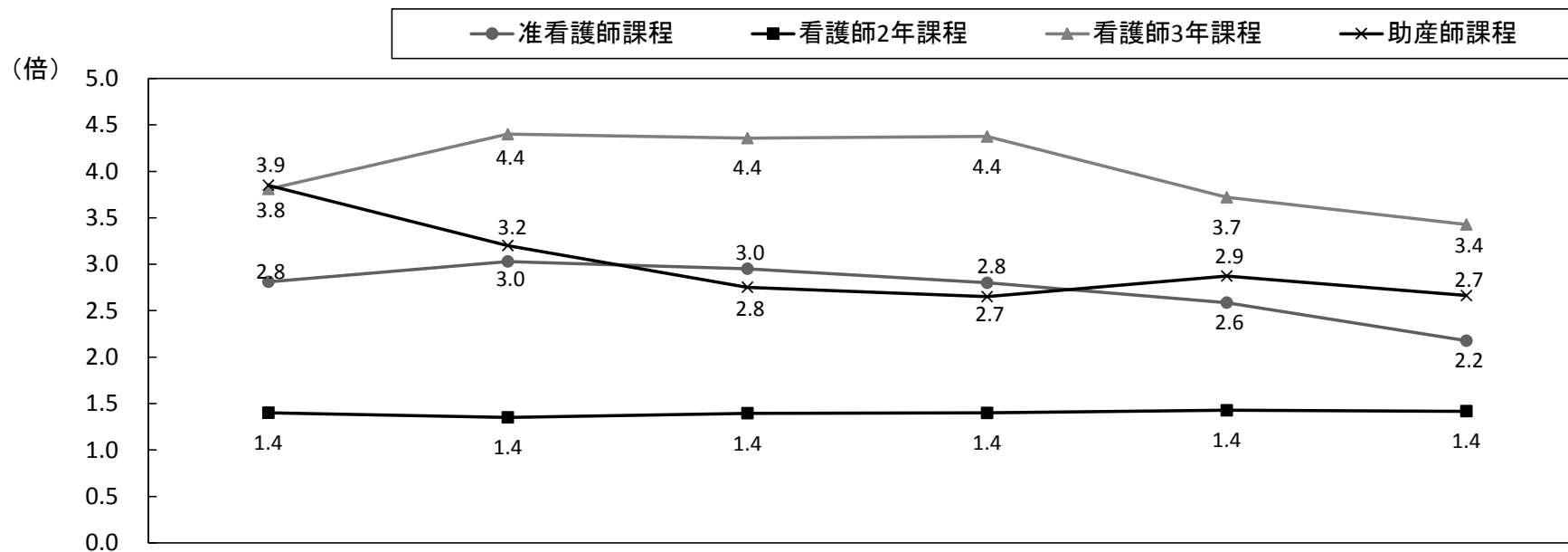
Ⅲ. 倍率の推移

各課程の倍率(応募者/定員)の推移を示した。

准看護師課程と看護師3年課程では、平成21年度から上昇傾向にあったが、准看護師課程は平成25年度から、看護師3年課程は昨年度から低下しており、平成27年度は看護師3年課程は3.4倍、准看護師課程は2.2倍であった。助産師課程は2.7倍、看護師2年課程は1.4倍で横ばいが続いている。

1. 倍率の推移

* 各校の平均



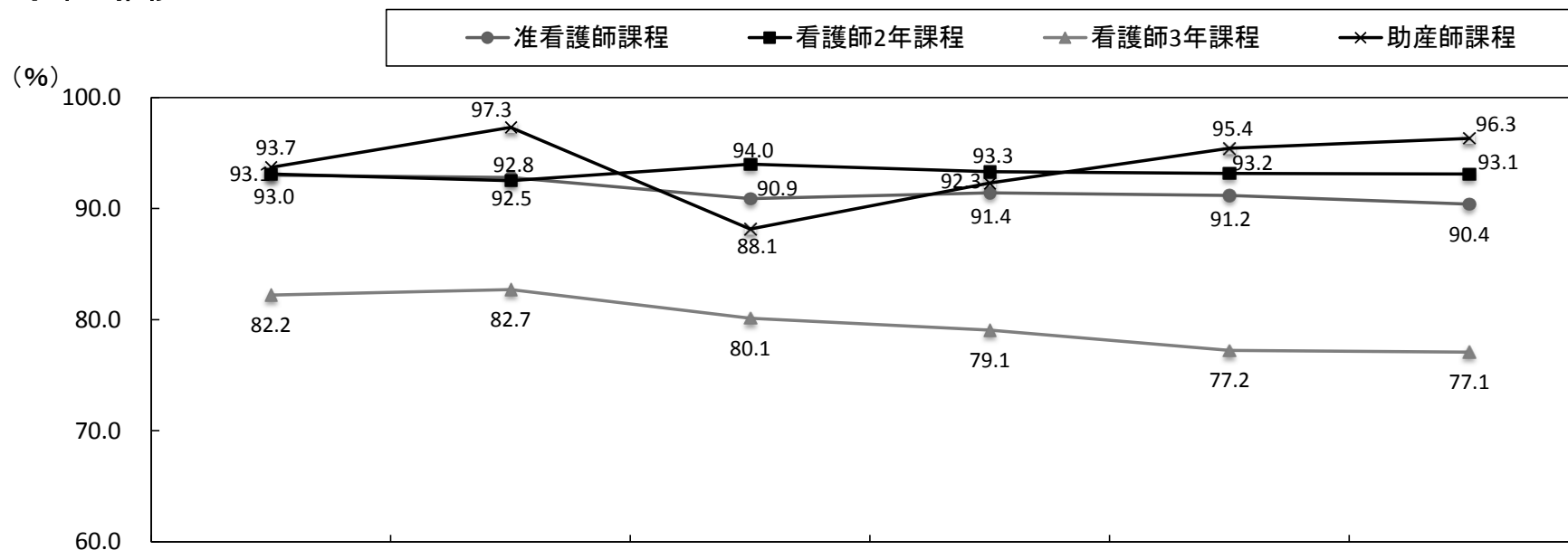
	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		(倍)
	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	回答校数	倍率	
准看護師課程	(n=205)	2.8	(n=198)	3.0	(n=196)	3.0	(n=193)	2.8	(n=188)	2.6	(n=188)	2.2	
看護師2年課程	(n=84)	1.4	(n=83)	1.4	(n=82)	1.4	(n=82)	1.4	(n=80)	1.4	(n=76)	1.4	
看護師3年課程	(n=59)	3.8	(n=61)	4.4	(n=63)	4.4	(n=64)	4.4	(n=65)	3.7	(n=68)	3.4	
助産師課程	(n=6)	3.9	(n=6)	3.2	(n=6)	2.8	(n=6)	2.7	(n=6)	2.9	(n=6)	2.7	

IV. 入学率の推移

入学率(入学者/合格者)の推移を各課程毎に示した。准看護師課程・看護師2年課程・助産師課程については、概ね9割を超えている。一方、看護師3年課程については、他の課程と比較すると低い水準で推移しており、平成27年度は77.1%であった。

1. 入学率の推移

* 各校の平均

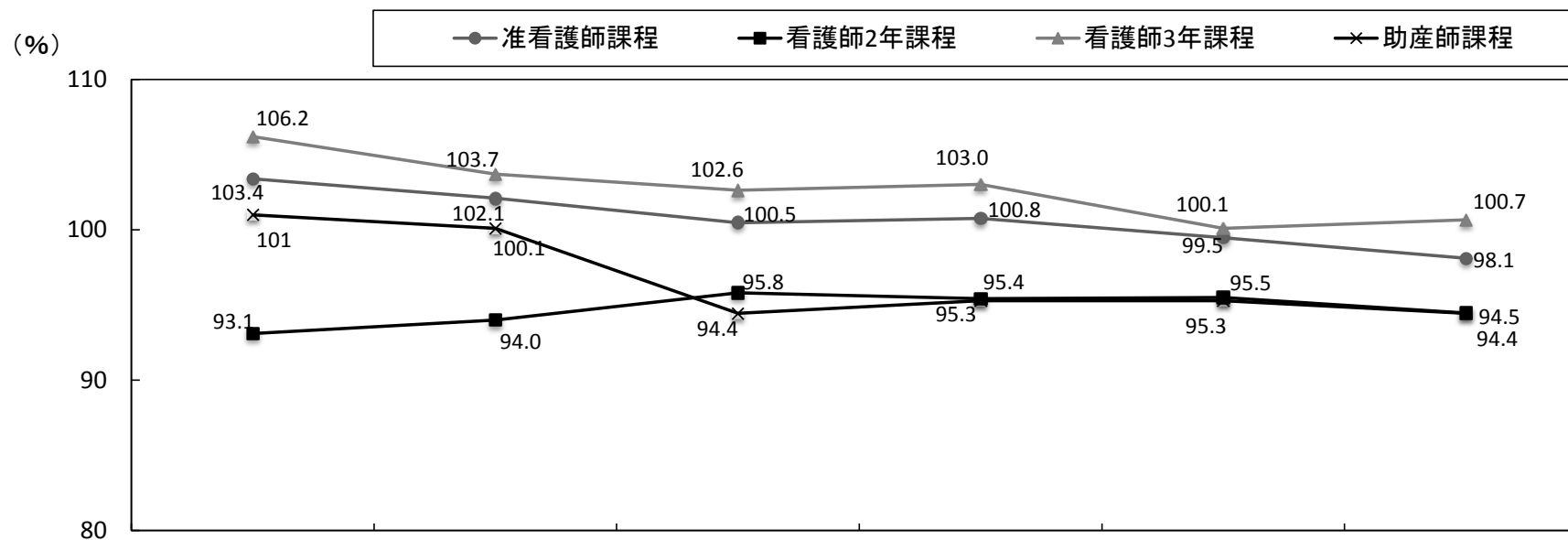


	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度 (%)	
	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率	回答校数	入学率
准看護師課程	(n=205)	93.0	(n=198)	92.8	(n=196)	90.9	(n=193)	91.4	(n=188)	91.2	(n=188)	90.4
看護師2年課程	(n=84)	93.1	(n=83)	92.5	(n=82)	94.0	(n=82)	93.3	(n=80)	93.2	(n=76)	93.1
看護師3年課程	(n=59)	82.2	(n=61)	82.7	(n=63)	80.1	(n=64)	79.1	(n=65)	77.2	(n=68)	77.1
助産師課程	(n=6)	93.7	(n=6)	97.3	(n=6)	88.1	(n=6)	92.3	(n=6)	95.4	(n=6)	96.3

V. 定員充足率の推移

定員充足率(入学者/定員)の推移を各課程毎に示した。看護師3年課程の充足率は100%を超えている。一方、看護師2年課程は平成20年度以降100%を切っており、平成27年度は94.5%であった。また、助産師課程も24年度以降、100%を下回っている。

1. 定員充足率の推移 *各校の平均



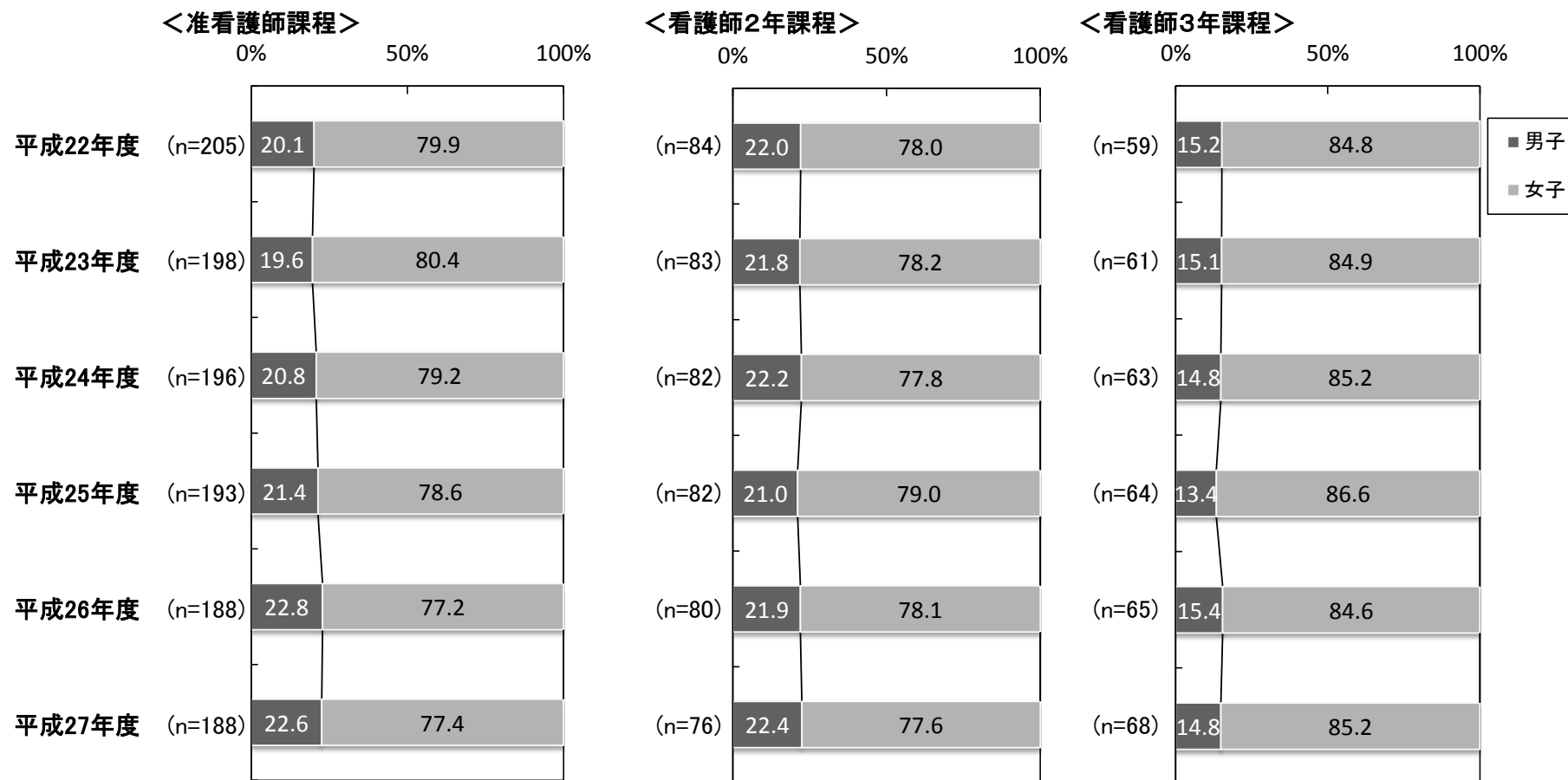
	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率	回答校数	充足率
准看護師課程	(n=205)	103.4	(n=198)	102.1	(n=196)	100.5	(n=193)	100.8	(n=188)	99.5	(n=188)	98.1
看護師2年課程	(n=84)	93.1	(n=83)	94.0	(n=82)	95.8	(n=82)	95.4	(n=80)	95.5	(n=76)	94.5
看護師3年課程	(n=59)	106.2	(n=61)	103.7	(n=63)	102.6	(n=64)	103.0	(n=65)	100.1	(n=68)	100.7
助産師課程	(n=05)	101	(n=6)	100.1	(n=6)	94.4	(n=6)	95.3	(n=6)	95.3	(n=6)	94.4

VI. 男子生徒率の推移

男子生徒率は、准看護師課程及び看護師2年課程では20%程度で推移している。看護師3年課程は、他の課程に比べてやや低く、15%程度となっている。

1. 男子生徒率の推移

* 各校の平均比率 (n=回答校数)

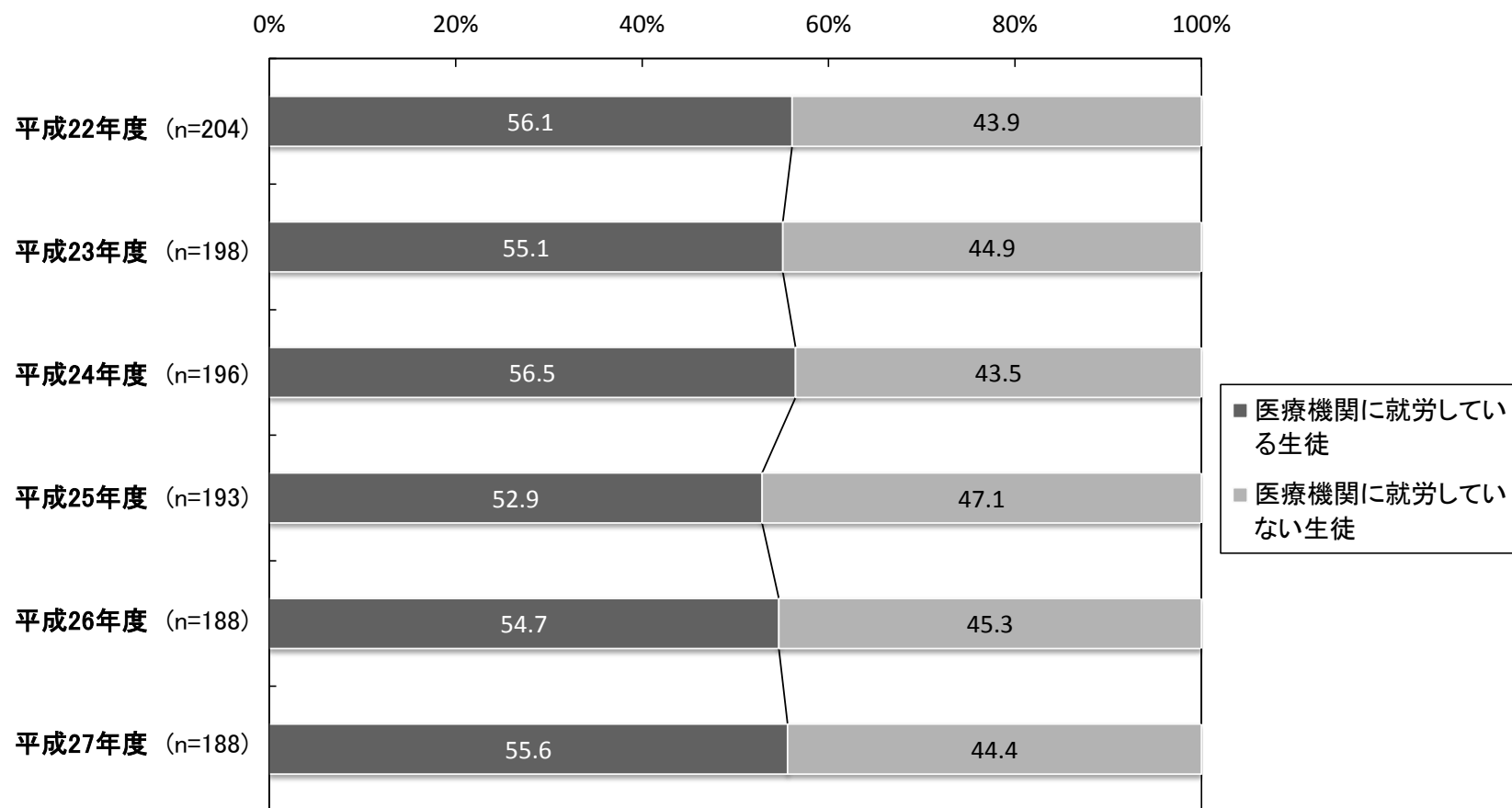


VII. 医療機関就労生徒率の推移

准看護師課程における医療機関就労生徒率は、50%台半ばで推移している。

1. 医療機関就労生徒率の推移（准看護師課程）

* 各校の平均比率(n=回答校数)

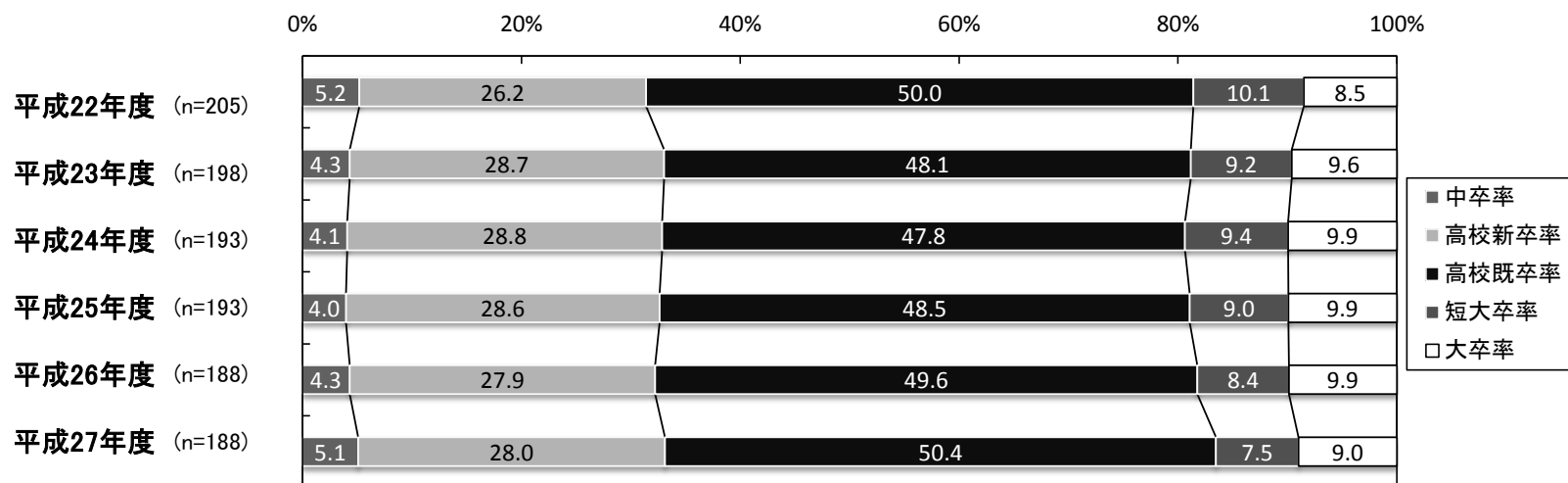


VIII. 最終学歴の推移

准看護師課程入学者の最終学歴は、概ね、高校既卒が5割、高校新卒が3割、短大卒・大卒が2割で推移しているが、27年度は短大卒・大卒の割合がやや減少している。

1. 最終学歴の割合（准看護師課程）

* 各校の平均比率 (n=回答校数)



	回答校数	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
		高校中退	高校既卒					
平成22年度	(n=205)	484	-	2,860	4,963	1,024	887	
平成23年度	(n=198)	425	287	2,822	4,721	903	944	
平成24年度	(n=196)	384	230	2,704	4,487	885	933	
平成25年度	(n=193)	364	242	2,626	4,441	826	909	
平成26年度	(n=188)	374	246	2,421	4,298	726	855	
平成27年度	(n=188)	436	294	2,399	4,310	646	768	

VIII. 最終学歴の推移

看護師2年課程は、准看護師課程の卒業者が入学するため、約7～8割が高校既卒であるが、准看護師課程入学者の短大・大卒の割合が増加傾向にあることに伴って、2年課程におけるその割合も平成22年度に比べて増加している。

2. 最終学歴の割合（看護師2年課程）

*各校の平均比率(n=回答校数)



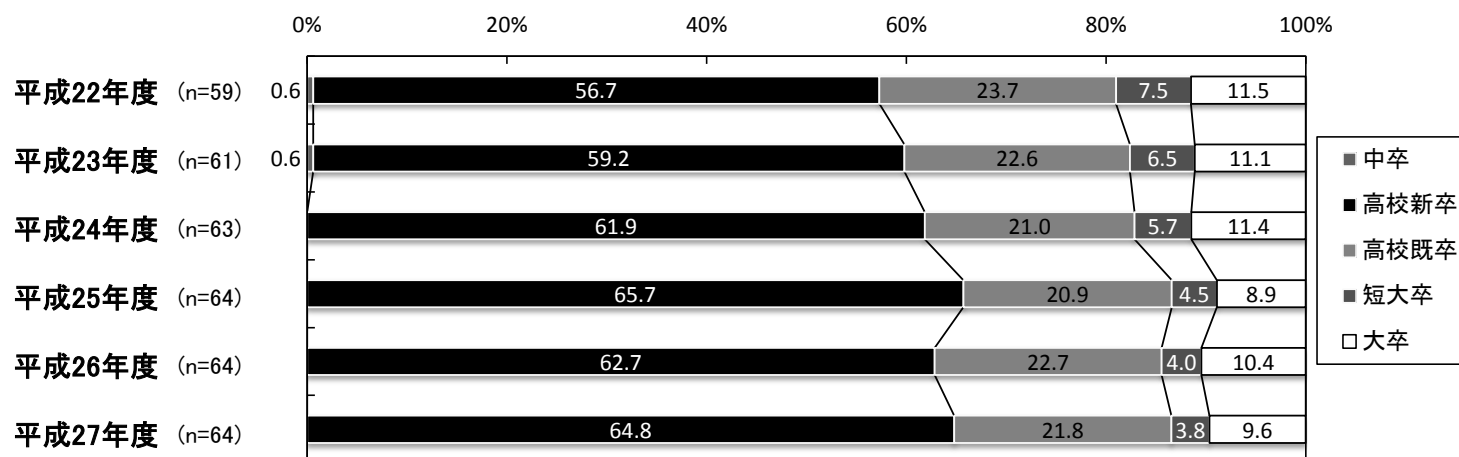
	回答校数	中卒		高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒
		高校中退	高校既卒				
平成22年度	(n=84)	56	-	275	2,888	253	215
平成23年度	(n=83)	81	35	281	2,749	273	216
平成24年度	(n=82)	39	13	219	2,717	296	300
平成25年度	(n=82)	45	18	234	2,719	256	323
平成26年度	(n=80)	40	16	262	2,488	281	307
平成27年度	(n=76)	35	19	174	2,437	208	311

VIII. 最終学歴の推移

看護師3年課程においては、高校新卒が最も多く6割程度、続いて高校既卒が2割程度となっている。高校新卒が平成22年度以降減少しつつ増加傾向にある一方で、高校既卒や短大・大卒の割合はやや減少している。

3. 最終学歴の割合（看護師3年課程）

* 各校の平均比率 (n=回答校数)



	回答校数	中卒	高校新卒	高校既卒	短大卒	大卒	(人)
平成22年度	(n=59)	19	1,747	729	232	354	
平成23年度	(n=61)	19	1,869	677	202	349	
平成24年度	(n=63)	-	1,962	666	181	363	
平成25年度	(n=64)	-	2,112	671	145	286	
平成26年度	(n=65)	-	2,091	757	132	348	
平成27年度	(n=68)	-	2,310	776	135	344	

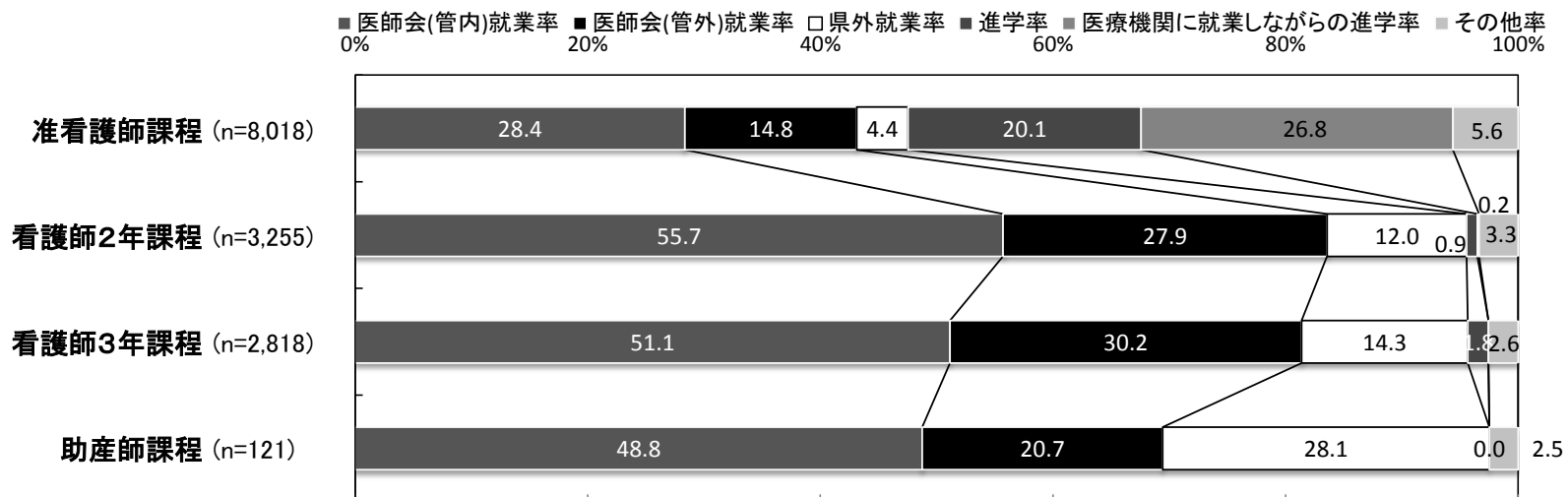
*大検合格者は高校既卒にカウントしている。(平成22～23年度は中卒にカウントした。)

Ⅸ. 卒業後の進路

卒業後の進路を課程別にみると、准看護師課程はその課程の性格上、進学率が他の課程と比較して高く46.9%にのぼる。ただし、進学者の半数以上(全体の26.8%)は医療機関に就業しながらの進学であり、全体で7割以上が就業していることになる。看護師2年課程、看護師3年課程の就業先は、養成所を設置運営している医師会管内が5割を超え、次いで医師会管外、県外の順となっている。助産師課程は、他の課程と比べて県外就業率が高く、28.1%であった。

1. 卒業後の進路

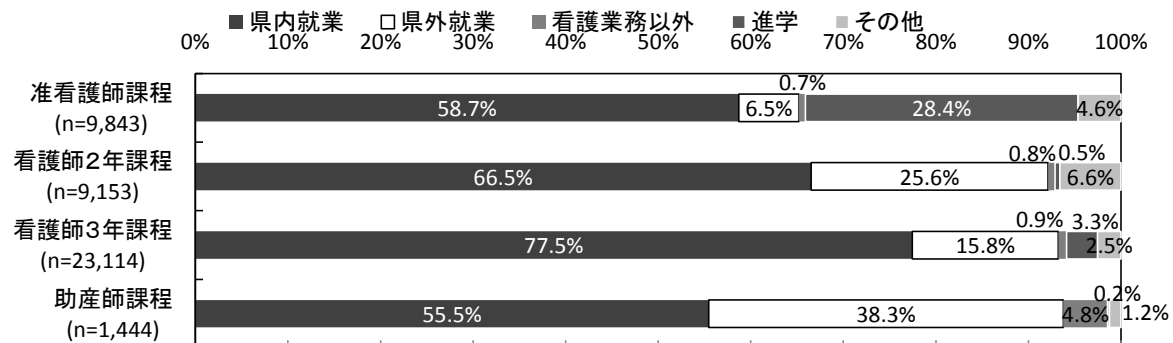
* 総数に占める割合 (n=卒業生数)



<参考>

全国の養成所の卒業状況 (平成26年3月卒業)

※大学・短大を除く



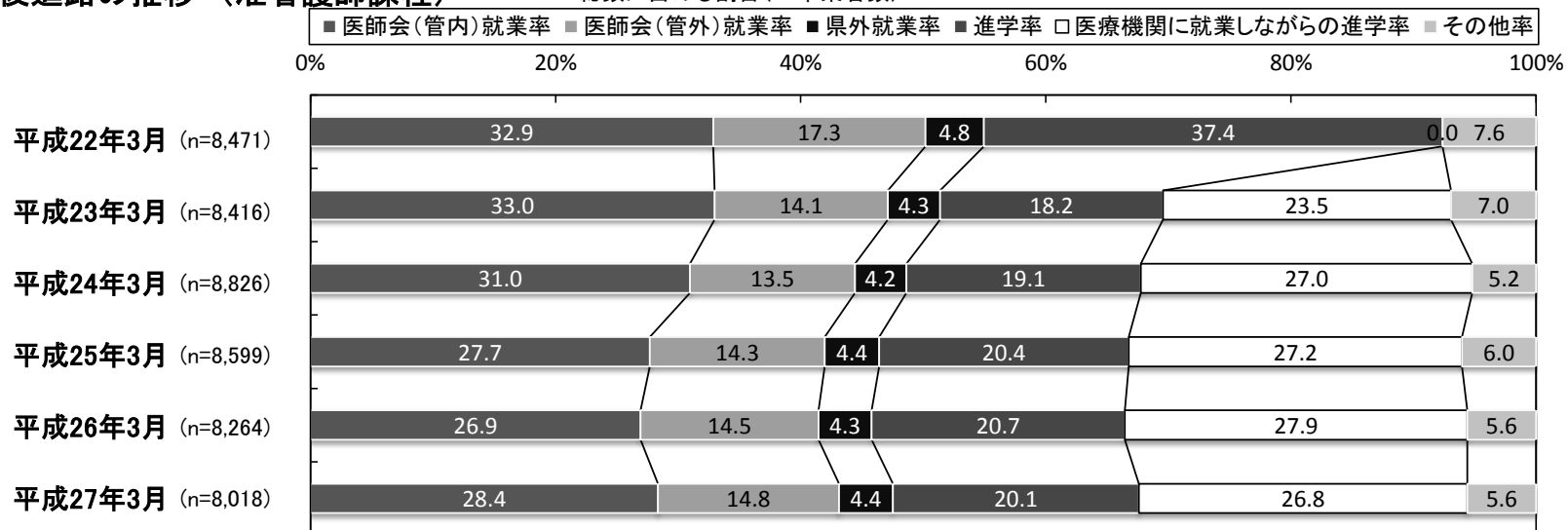
X. 卒業後進路の推移

准看護師課程の卒業後の推移を見ると、平成22年は進学は37.4%であったのに対し、平成27年は46.9%となっており、卒業後すぐに進学する人が増加している。

※平成22年3月分は「医療機関に就業しながら進学」の項目を設けておらず、すべて「進学」としてカウントしている。

1. 卒業後進路の推移（准看護師課程）

* 総数に占める割合（n=卒業者数）



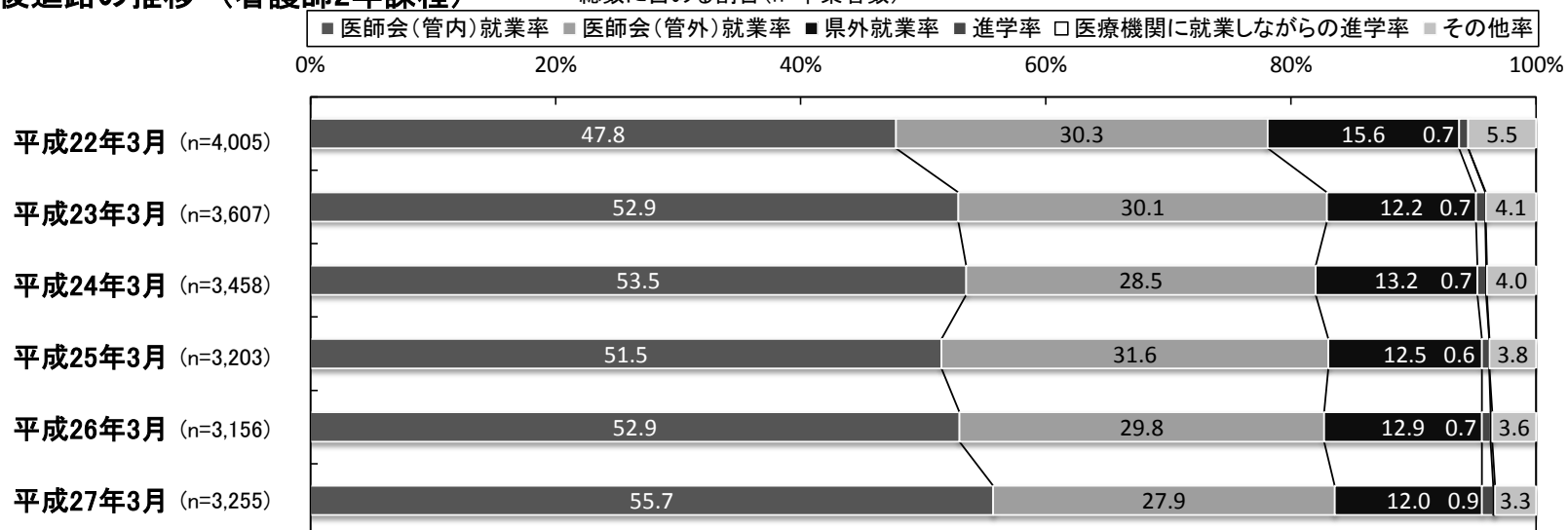
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会(管内)	医師会(管外)				
平成22年3月	(n=205)	2,784	1,467	404	3,169	-	647
平成23年3月	(n=198)	2,775	1,190	359	1,529	1,978	585
平成24年3月	(n=196)	2,733	1,188	371	1,688	2,386	460
平成25年3月	(n=193)	2,381	1,227	382	1,751	2,338	520
平成26年3月	(n=188)	2,226	1,200	358	1,707	2,308	465
平成27年3月	(n=188)	2,274	1,184	353	1,608	2,149	450

X. 卒業後進路の推移

看護師2年課程の進路の傾向は毎年それほど変わらず、医師会管内の医療機関への就業が5割超、医師会管外が3割と、計8割以上が県内で就業している。

2. 卒業後進路の推移（看護師2年課程）

* 総数に占める割合 (n=卒業生数)



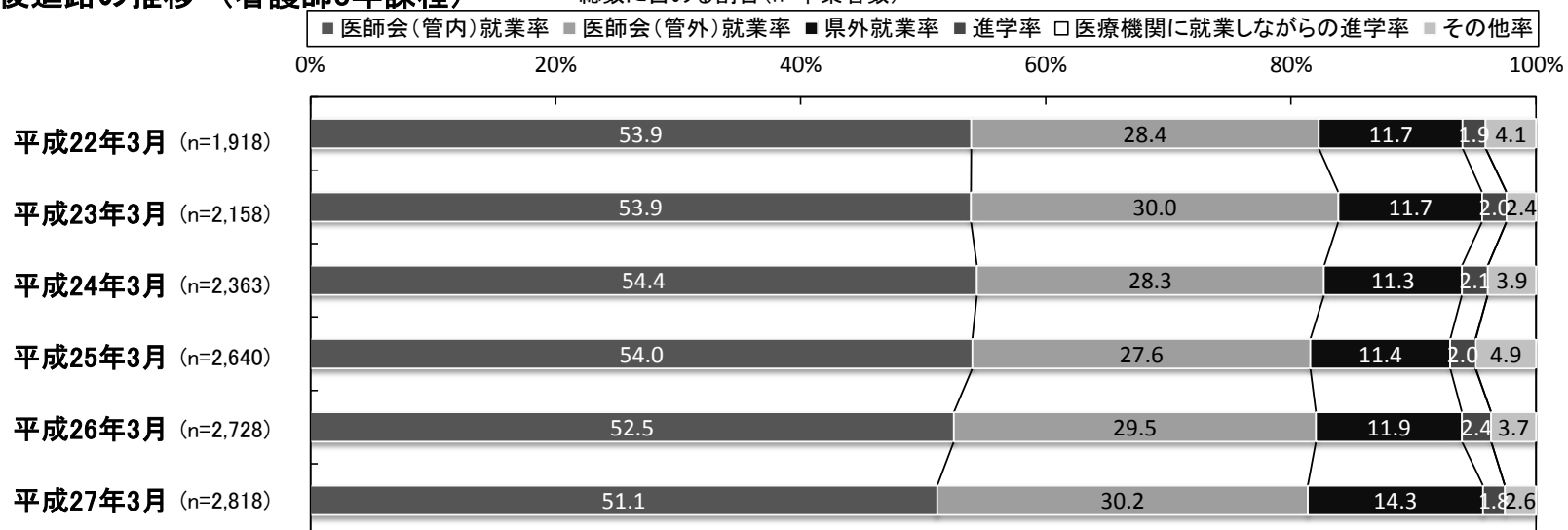
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会(管内)	医師会(管外)				
平成22年3月	(n=84)	1,913	1,215	625	30	-	222
平成23年3月	(n=83)	1,907	1,084	439	27	2	148
平成24年3月	(n=82)	1,850	986	456	25	2	139
平成25年3月	(n=82)	1,649	1,011	401	19	1	122
平成26年3月	(n=80)	1,671	939	406	23	4	113
平成27年3月	(n=76)	1,813	907	391	30	5	109

X. 卒業後進路の推移

看護師3年課程も、2年課程と同様で、医師会管内の医療機関への就業が5割超、医師会管外が3割と、計8割以上が県内で就業している。

3. 卒業後進路の推移（看護師3年課程）

* 総数に占める割合（n=卒業生数）



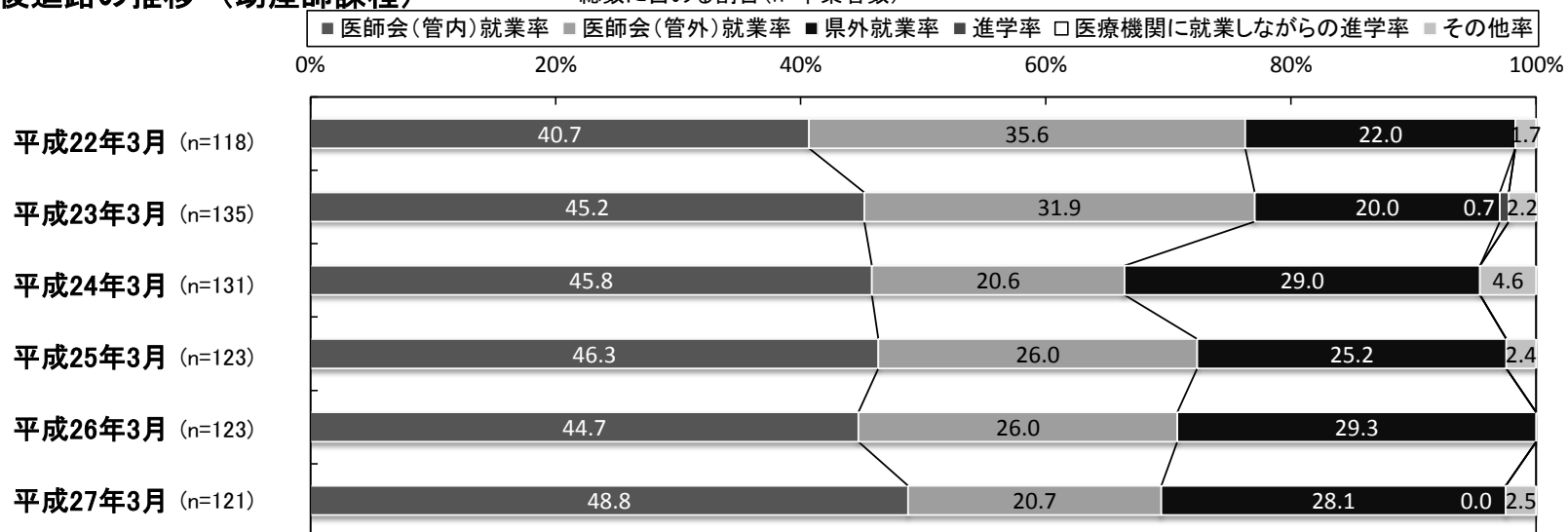
	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会(管内)	医師会(管外)				
平成22年3月	(n=59)	1,034	544	225	36	-	79
平成23年3月	(n=61)	1,163	647	253	43	0	52
平成24年3月	(n=63)	1,285	669	266	50	0	93
平成25年3月	(n=64)	1,426	728	301	54	1	130
平成26年3月	(n=65)	1,432	806	325	65	0	100
平成27年3月	(n=68)	1,441	852	403	50	0	72

X. 卒業後進路の推移

助産師課程の卒業後の進路の推移を見ると、7割程度が県内の就業であるが、平成24年以降、県外就業率の割合が高くなっている。

4. 卒業後進路の推移（助産師課程）

* 総数に占める割合（n=卒業生数）



	回答校数	県内就業		県外就業	進学	医療機関に就業しながら進学	その他
		医師会(管内)	医師会(管外)				
平成22年3月	(n=6)	48	42	26	0	-	2
平成23年3月	(n=6)	61	43	27	1	0	3
平成24年3月	(n=6)	60	27	38	0	0	6
平成25年3月	(n=6)	57	32	31	0	0	3
平成26年3月	(n=6)	55	32	36	0	0	0
平成27年3月	(n=6)	59	25	34	0	0	3

1. 入学状況

<准看護師課程>

- ・平成24年度から減少傾向にあった応募者は、今年度も大きく減少し(P9)、倍率は2.2倍に低下した(P13)。
- ・入学者の最終学歴の割合は、高校既卒が50.4%と最も多く、短大・大卒は合計16.5%であった(P18)。看護師3年課程は高校新卒の割合が約6割と高い一方で、准看護師課程は、高校既卒や短大・大卒の方が約7割と多く、社会人の学び直しの教育機関としての役割も担っていると言える。

<看護師2年課程>

- ・看護師2年課程については、准看護師学校養成所減少の影響もあり、減少傾向にある(P8)。また、倍率も1.4倍の横ばいが続いている(P13)。
- ・定員充足率(入学者/定員)は、平成20年度から100%を割っており、今年度も94.5%にとどまった(P15)。
- ・応募者の減少は、准看護師養成所の減少の他、業務経験10年以上を有する准看護師が通信制の2年課程に入学しているケースや、進学せずに准看護師として地域医療の現場で活躍していることが考えられる。

<看護師3年課程>

- ・看護師3年課程は、毎年学校数が増加している(P8)。ただ、平成26年度以降応募者数は減少傾向にあり、今年度の倍率は3.4倍であった(P11、13)。
- ・3年課程で特徴的なのは、入学率(入学者/合格者)が他の課程に比べて低いことである(P14)。合格しても、大学や、学費の安い公立校へ流れていることが考えられる。
- ・最終学歴の割合は、高校新卒が6割、続いて高校既卒が2割となっている。高校新卒が増加傾向にある一方で、短大・大卒者の割合はやや減少傾向にあり、今年度は合計13.4%であった(P20)。

<助産師課程>

- ・助産師課程の応募者は、平成24年度以降横ばいであるが、定員・入学者数から見ると安定している(P12)。

まとめ

2. 卒業状況 (P 21)

<准看護師課程>

- ・ 准看護師課程の県内(医師会管内+医師会管外)就業率は43.2%であった。進学(進学+医療機関に就業しながら進学)が46.9%と高いが、進学者の半数以上は医療機関に就業しており、これを合わせると7割以上の方が地域医療を支えていることがわかる。
- ・ 経年変化を見ると、卒業後すぐに進学する者が増えており、平成22年(37.4%)に比べて、約1割増加している。

<看護師2年課程>

- ・ 看護師2年課程は、卒業生の83.6%が県内(医師会管内+医師会管外)に就業している。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成26年度の全国の2年課程学校養成所の県内就業率(県内就業者数/卒業者数)は66.5%となっており、医師会立養成所卒業者の県内就業率は高いと言える。

<看護師3年課程>

- ・ 看護師3年課程の県内(医師会管内+医師会管外)就業率は81.3%であった。年度が異なるため単純な比較はできないが、平成26年度の全国の3年課程学校養成所の県内就業率(県内就業者数/卒業者数)の平均は77.5%であり、医師会立養成所卒業者の県内就業率は高いと言える。
なお、「看護系大学卒業者」全体に占める「看護師として県内に就業」した者の割合(看護師として県内に就業/卒業者数)は49.9%であり、保健師・助産師等を除く、「看護師として就業」した者の「県内就業」率は60%であった。

※ 全国、大学の県内就業率は「看護関係統計資料集」を基に算出

<助産師課程>

- ・ 助産師課程については、他の課程に比べて県外就業率が28.1%と高い。助産師課程は学校養成所が少ないため(参考:平成26年4月現在助産師養成所は42校(大学等を除く))、医師会立の学校養成所は、県外からの学生も含めて貴重な養成の場となっていることがうかがえる。

3. まとめ

- ・ 今年度は准看護師課程の減少はなかったものの定員は減少しており、また来年度以降の募集停止を決めている学校もあるため、依然として准看護師養成所の減少に歯止めがかからない状況である。また、今年度は准看護師課程・看護師3年課程とも応募者、倍率が低下した。優秀な人材の確保のためにも、一定程度の応募者は必要であり、国民に向けて、看護職の魅力をもっとPRしていく必要がある。
- ・ 医師会立の養成所は、県内就業率も高く、地域の看護職員確保に多大な役割を果たしている。しかしながら、実習施設や教員の確保等に大変苦慮しており、経営面でも医師会からの多額の繰り入れを要するなど、非常に厳しい状況での教育を強いられている。医師会立の養成所が閉校すれば、地域の看護職員不足は一層深刻なものとなる。厚生労働省や都道府県・市区町村行政による、補助金(地域医療介護総合確保基金)の増額や各種規則の柔軟な運用等、養成の支援が必要である。